

# 暴力団等による暴力の根絶に関する決議

去る、4月17日、伊藤一長長崎市長が選挙運動中に、暴力団員によって銃撃され死亡するという凶悪事件が発生した。

当該事件は、自由と平和を希求する国民にとって大きな衝撃を与えたところであり、断じて許すことが出来ない暴挙である。

国民が安全で安心して暮らせることは、国民生活の基本である。

については、いかなる暴力も許さない社会環境を醸成するとともに、自由と民主主義並びに安全安心な社会の構築を願い次のとおり決議する。

- 1．国、警察当局と連携し、銃器対策や暴力団対策の一層の徹底を行う。
- 2．暴力団や右翼団体等による行政に対する不当要求に対し毅然とした対応を行う。
- 3．誰もが安心して暮らせる犯罪のない安全安心なまちづくりの一層の推進を図る。

平成19年5月

九州地方知事会